

タイから第三国への食品輸出に関する調査(2) (バングラデシュ)

2026年2月

タイ輸出プラットフォーム

ジェトロバンコク事務所

目次

1. タイから Bangladesh への食品輸出金額の分析 ^{※1}	3
(1) 食品輸出総額	3
(2) 品目詳細	3
2. タイから食品輸入をする Bangladesh 業者の調査.....	6
(1) タイからの主な食品の輸入品	7
(2) 海外から日本産食品の輸入実績	9
(3) 日本産食品の今後の需要	10
(4) アドバイス、要望	11

タイから周辺国への食品輸出に関する調査（2）バングラデシュ

本調査は、タイを経由して輸出可能な国の輸入業者の実態とニーズを把握し、今後のビジネスマッチングに活用することを目的とする。

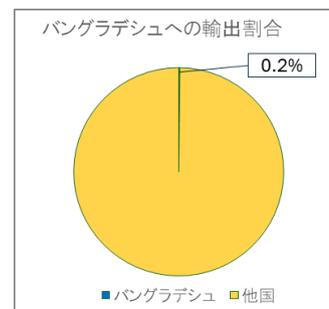
1. タイからバングラデシュへの食品輸出金額の分析※1

(1) 食品輸出総額

2024 年におけるタイからバングラデシュへの食品輸出金額は 81.7 百万 USD。

[1ドル=152 円 / 2025 年 10 月: google.finance]

タイの輸出額に占めるバングラデシュの割合が 0.2%を占める。



近年は増加傾向にあったが、2024 年度は減少している。

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
バングラデシュ	79.3	79.8	74.7	97.8	122.6	81.7

(Million USD)

(2) 品目詳細

2024 年のバングラデシュへの輸出金額の TOP10 の品目は、以下のようになっている。

No.1(乾燥ピンロウジ(嗜好品原料))、No.2(飼料添加物または飼料補助剤)、No.3(マニオク(キャッサバ)澱粉)、No.4(その他の種子)、No.8(その他のタピオカ代用物)、No.10(種子)の6品目は過去3年間で増加傾向にある。特に No.10(種子)は対前年比で 139%、No.2(飼料添加物または飼料補助剤)は対前年比で 133%、No.4(その他の種子)は対前年比で 132%の増加となっている。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019	2022	2023	2024	対前年比
1	8028000002	KG	乾燥ピンロウジ(嗜好品原料)	3.19	8.84	17.58	19.2	109%
2	23099020000	KG	飼料添加物または飼料補助剤	6.02	4.82	6.13	8.16	133%
3	11081400000	KG	マニオク(キャッサバ)澱粉	6.58	5.04	6.01	6.97	116%
4	12099190090	KG	その他の種子	2.57	3.41	3.95	5.23	132%
5	23099090000	KG	その他の飼料	7.04	5.70	4.82	4.88	101%
6	23012020000	KG	魚、たんぱく質含量 60%以上	5.98	5.40	1.99	3.84	193%
7	19030000001	KG	キャッサバ粉から得たサゴ	4.22	0.99	2.65	2.80	106%
8	19030000090	KG	その他のタピオカ代用物	1.43	1.36	2.5	2.72	109%
9	23099019000	KG	その他の飼料	2.34	2.89	2.06	2.05	100%
10	10051000000	KG	種子	0.77	1.18	1.29	1.79	139%

(Million USD)

2024年の 11 位～30 位では、No.15(その他のナッツ類)、No.17(その他の香辛料)、No.18(その他のマスタード)などの成長率が高い。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019	2022	2023	2024	対前年比
11	17019910004	KG	精製白糖:極性値が 998 以上、色度値は 0-45 ICUMSA 単位、420nm での測定	0.00	0.86	2.82	1.75	62%
12	21069030000	KG	非乳製クリーム	1.40	2.89	1.99	1.73	87%
13	21039019090	KG	その他の調製食料品	3.99	3.61	1.28	1.70	133%
14	23091010090	KG	その他の飼料用調製品	0.21	0.45	0.81	1.43	177%
15	8029900090	KG	その他のナッツ類	0.00	0.30	0.67	1.40	209%
16	12099190004	KG	きゅうりの種、播種用	0.00	0.02	1.05	1.05	100%
17	9101100000	KG	その他の香辛料	5.91	0.23	0.35	1.03	294%
18	21039011090	KG	その他のマスタード類	0.08	0.24	0.30	0.86	287%
19	12077000002	KG	スイカの種、播種用	0.00	0.00	1.63	0.83	51%
20	20081999000	KG	その他の落花生	0.19	0.54	0.66	0.75	114%
21	22083090000	LT	その他のアルコール	0.00	0.36	0.74	0.70	95%
22	11081910000	KG	サゴ	0.23	0.03	0.58	0.65	112%
23	21069099000	KG	その他のたんぱく質系物質	0.00	0.53	0.19	0.43	226%
24	12119099001	KG	リアニア(植物名)	0.27	0.35	0.26	0.42	162%
25	12119099090	KG	その他の植物	0.38	0.07	0.39	0.39	100%
26	21031000000	KG	醤油	0.15	0.21	0.12	0.35	292%
27	19041090000	KG	その他の穀物製品の調製食料品	0.10	0.07	0.19	0.34	179%
28	8028000001	KG	生バトルナッツ	0.00	0.00	0.23	0.30	130%
29	15131990000	KG	その他の粗油	0.00	0.04	0.25	0.29	116%
30	18063100001	KG	チョコレート菓子	0.17	0.11	0.37	0.28	76%

(Million USD)

2024年の 31 位以下では、少額ながら 195 位までの品目が上がっている。増加傾向のある食品リストは下記のようになる。

特に、No. 69(キャベツ)が対前年比 600%と突出しており、次いで No. 55(ベタ:観賞用魚)や No. 85(その他の果物加工品)の成長率も極めて高い。また、No. 32(その他の魚)なども大幅に伸長している。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019	2022	2023	2024	対前年比
32	16041419000	KG	その他の魚	0.16	0.15	0.07	0.24	343%
34	23099013000	KG	エビ用(加工品)などに適したもの	0.27	0.23	0.14	0.22	157%
36	21039013002	KG	オイスターソース	0.08	0.17	0.16	0.22	138%
37	3019924000	KG	その他、育種用途の魚	0	0.1	0.09	0.21	233%

38	23091090000	KG	その他(犬猫用飼料)	0.01	0.01	0.06	0.19	317%
41	19023040000	KG	インスタント麺(その他)	0.05	0.12	0.17	0.17	100%
43	22082050000	LT	ブランデー	0.1	0.05	0.12	0.13	108%
44	4014010000	KG	液体状のミルク	0.11	0.14	0.04	0.12	300%
45	23091010001	KG	密封容器入りの魚介類(缶詰など)	0	0.03	0.05	0.12	240%
47	19021990000	KG	その他(粉もの加工食品)	0.08	0.08	0.06	0.11	183%
48	3089030000	KG	冷凍食品	0.07	0.05	0.04	0.11	275%
52	3011199090	KG	その他(魚介類)	0	0.07	0.03	0.1	333%
54	3063611000	KG	タイガーシュリンプ(Penaeus monodon)	0.03	0.11	0.05	0.09	180%
55	3011193000	KG	ベタ(観賞用魚)	0.02	0.02	0.02	0.09	450%
58	22089099000	LT	その他の酒類	0.1	0.05	0.07	0.08	114%
59	21041099000	KG	その他(調味料)	0	0.06	0.07	0.08	114%
60	15211000000	KG	野菜性ワックス	0	0.04	0.08	0.08	100%
67	8109092000	KG	ドラゴンフルーツ	0.03	0.04	0.04	0.06	150%
68	7139010000	KG	種子用(播種向け)	0.02	0.02	0.05	0.06	120%
69	7051100000	KG	キャベツ(カットレタス)	0.03	0.01	0.01	0.06	600%
70	22090000000	LT	酢および代替品(酢酸由来)	0	0.02	0.02	0.06	300%
75	19059090000	KG	その他菓子類	0.03	0.01	0.05	0.05	100%
76	4090000000	KG	天然はちみつ	0	0.03	0.03	0.05	167%
77	21069072090	KG	その他調整食品	0.01	0.01	0	0.05	—
78	15131910000	KG	ココナッツオイル(未精製、その他)	0	0	0	0.05	—
83	8109030000	KG	ランブータン	0.02	0.02	0.02	0.04	200%
84	8045030001	KG	マンゴスチン	0	0.02	0.03	0.04	133%
85	20089940090	KG	その他の果物(加工)	0	0.01	0.01	0.04	400%
103	12077000001	KG	種子用マスクメロン(カンタローブ)	0	0.01	0.01	0.03	300%
104	21069093001	KG	密封容器入りのココナッツミルク	0	0.01	0.01	0.03	300%

(Million USD)

2.タイから食品輸入をするバングラデシュ業者の調査

タイから食品輸入をするバングラデシュの業者 10 社から、日本産食品を含む輸入状況についてのヒヤリング調査を実施した。

1	Allion Trade International,	取材日時 :2025 年 8 月 15 日
事業概要	2002 年にマーケティング事業を開始。2015 年に初の小売店をオープン。2010 年から世界各国の高品質なドライフードの輸入を開始。	
主な販売先	ホテル・レストラン、自社店舗(1 店舗)	

2	Taher Trading	取材日時 :2025 年 8 月 18 日
事業概要	バングラデシュの食品サービス業界における著名企業で、複数の有名ブランドの正規代理店。食品および健康関連製品を幅広く取り扱う。	
主な販売先	レストラン、スーパーマーケット、自社店舗(2 店舗)	

3	Julie Trade International	取材日時 :2025 年 8 月 14 日
事業概要	2006 年にダッカで設立。FMCG(Fast-Moving Consumer Goods)市場においてトップクラスの輸入業者として成長してきた。世界各国の有名ブランドを導入し、高品質な商品を提供する。	
主な販売先	レストラン、スーパーマーケット	

4	QandQ Trading Limited	取材日時 :2025 年 8 月 14 日
事業概要	主に日用消費財(FMCG)と電子製品を取り扱う多角経営商社。1988 年の設立以来、貿易、マーケティング、流通事業を展開。本社(チッタゴン)、事務所(ダッカ)、海外事務所(シンガポール)と、チッタゴン(2 つ)、ダッカ(3 つ)に大型倉庫を保有。	
主な販売先	直販、モダントレード(Unimart, Agora, Swapno など)。 専用ショールーム(チッタゴン・ショッピング・コンプレックス内)。	

5	Universal Trading House	取材日時 :2025 年 8 月 19 日
事業概要	ダッカに本社を構える、貿易・流通企業。効率性・信頼性・顧客満足を重視したサービスを展開。国内外のパートナーと広範な流通ネットワークを構築。	
主な販売先	モダントレード(スーパーマーケット等)、ホテル・レストラン、卸売市場	

6	Moon Star Trade Alliance	取材日時 :2025 年 8 月 15 日
事業概要	世界中のサプライヤーから高品質な製品を調達し、新鮮な状態で現地市場に届ける食品輸入会社。加工食品、飲料、スパイス、菓子、日用品など、幅広い食品を取り扱う。	
主な販売先	小売店、卸売業者、レストラン、ホテル、モダントレード(全国展開)	

7	Noor Trade House	取材日時 :2025 年 8 月 20 日
事業概要	ユニーク・グループによって 2007 年に設立。ダッカおよび他の地域におけるホテル、レストラン、小売市場向けに、プレミアムブランドの高品質食品を輸入・供給している。	
主な販売先	ホテル、レストラン、小売店、卸売業者	

8	Ms Kaniz Enterprise	取材日時：2025年8月19日
事業概要	輸入、輸出、そして総合サプライヤーとして事業を展開。	
主な販売先	モダントレード、卸売、レストラン	

9	Ever Grow Limited	取材日時：2025年8月21日
事業概要	食品の輸入・販売(日本・タイを中心としたグローバルサプライヤーからの調達)	
主な販売先	卸業者、レストラン、食品サービス、小売業者	

10	Al Amin Trading	取材日時：2025年8月22日
事業概要	輸入、卸売、全国流通	
主な販売先	モダントレード、小売業者、地方都市の商店	

(1) タイからの主な食品の輸入品

バングラデシュの業者は、各社とも何らかの形でタイから食品を輸入している。

主な輸入食品として、「缶詰食品(特にツナ)」、「ソース類(Fish Sauce、Cooking Sauce、Real Thai など)」、「乾燥・粉末食品(天ぷら粉、ココナッツパウダー、シーズニングミックスなど)」、「飲料類(ジュース、Red Bull、コーヒーなど)」、「麺類(ラーメン、カップ麺、パスタなど)」がある。

1	Allion Trade International,
輸入状況	主なタイからの輸入食品は、タイから直送。日本食品のタイからの輸入はない。
輸入品目	<ul style="list-style-type: none"> ・缶詰食品(ツナ、ベビーコーン、スイートコーン)を個別容器で輸入。 ・ソース(Real Thai ブランド)をポケット包装で輸入。 ・乾燥食品(ドライマンゴー)。

2	Taher Trading
輸入状況	食品・飲料を輸入。日本産食品もタイから輸入。
輸入品目	コーヒー豆、ベビーコーン、ココナッツミルク、ツナ、ジュース、ソース類。 ラーメン(日本産)
輸入数量	ラーメンは、輸入量の10-15%

3	Julie Trade International
輸入品目	ソース類：魚醤、クッキングソース、Maggi(タイ製)、Rukings、マナガツオ 缶詰食品：マグロ(New Dealers)、ココナッツミルク、カーネーションミルク(Nestlé) 粉末食品：天ぷらミックス、ココナッツパウダー、粉ミルク(食品調製品として分類) 飲料：ジュース類(現在は他国から調達)

4	QandQ Trading Limited
輸入状況	約 20 年前から輸入開始。日本産食品の輸入はない。
輸入品目	ソース類、パン粉、天ぷら粉

5	Universal Trading House
輸入状況	輸入が比較的容易で、安定供給できる商品が多い。
輸入品目	缶詰食品(ツナなど)、調味料(チキンパウダー、調理用ソースなど)、麺類/パスタ

6	Moon Star Trade Alliance
輸入状況	10 年以上前から安定して輸入。
輸入品目	カップ麺・スティック麺(主力商品)、タイソース・マヨネーズ(安定供給中)、チョコレート(人気商品) 日本製のラーメン・照り焼きソースなどは、品薄時にタイ経由で調達。(約 100 カートン/回)

7	Noor Trade House
輸入状況	一部の日本製品もタイから輸入。
輸入品目	魚介類、キューピー製品、ソース類。果物・野菜
輸入数量	比較的少量で輸入する事が多い。

8	Ms Kaniz Enterprise
輸入状況	各種タイの商品を輸入。
輸入品目	キューピーマヨネーズ(タイ生産)、わさび粉、海苔、ソース、味噌、マスタードペースト

9	Ever Grow Limited
輸入状況	タイ原産品のみを輸入(他国経由品は扱わない)
輸入品目	ソース類・調味料、缶詰ツナ、シーズニングパウダー・ミックス

10	Al Amin Trading
輸入状況	主力商品を中心に安定。日本製品のタイからの輸入はない。
輸入品目	ソース類(主力商品)、チョコレート・キャンディ(安定供給中)、飲料(Red Bull など高需要商品)
輸入数量	1 回の輸入は、4~5 コンテナ

(2) 海外から日本産食品の輸入実績

日本産食品の輸入は、シンガポールとドバイが物流・商流の要所となっており、多くの食品がこの 2 地点を経由している。10 社中の 4 社は日本からの直接調達がある。

「キッコーマン醤油」は、多くの企業が輸入しており、圧倒的な人気商品。また、「ソース類/調味料」、「ラーメン/麺類」、「お菓子・スナック」なども多いが、比較的少量で混載で輸入されるケースも多い。

1	Allion Trade International,
輸入先	シンガポール
輸入商品	キッコーマン醤油(1.6L)をカートン包装で輸入。

2	Taher Trading
輸入先	ドバイ・シンガポール、タイ
輸入商品	ラーメン、ソース、ツナ(少量)

3	Julie Trade International
輸入先	シンガポール
輸入商品	キッコーマン醤油(2007 年から輸入しているが、近年は販売量減少)

4	QandQ Trading Limited
輸入先	シンガポール、日本、インドネシア
輸入商品	日本から明治のスナック菓子、年間 4~5 コンテナ(40ft/20ft)程度

5	Universal Trading House
輸入先	シンガポール
輸入商品	キッコーマン醤油(偽造品が出回っており、正規品の販売に影響が出ている)

6	Moon Star Trade Alliance
輸入先	シンガポール・ドバイ、日本
輸入商品	レトルト食品、醤油、チョコレート、ジュースなど。日本からは 1 種類あたり 100~200 カートン程度。

7	Noor Trade House
輸入先	シンガポール、ドバイ、タイ
輸入商品	キューピー製品、チルド魚、ソース類など。色々な商品を混載。多くても 100~200 カートンくらい。

8	Ms Kaniz Enterprise	
輸入先	日本(大阪)	アメリカ
輸入商品	ジュース、クッキー、チョコレート、ソース、マヨネーズ、米酢など。(毎月 40ft の混載コンテナで輸入)	キッコーマン、キャンディー、麺類、チューインガムなど

9	Ever Grow Limited	
輸入先	日本、シンガポール/ドバイ(市場需要に応じて時々購入)	
輸入商品	ひまわり油やオリーブオイルなど油脂製品、パスタ、スパゲッティ、醤油、スイートチリソース、ナンプレー、オイスターソースなどの各種調味料やソース類	

10	Al Amin Trading	
輸入先	シンガポール、ドバイ	
輸入商品	キッコーマン醤油、ポカリスエットなど、少量・混載便で輸入。	

(3) 日本産食品の今後の需要

ソース・スパイス類は現地料理への応用もしやすく、今後も需要の増加傾向が予想される。若者中心に人気のある「麺類/ラーメン」「寿司/刺身関連」も期待できる。

一方で日本製品全般に消費者の認知不足や、ラベル言語問題(英語表記がない)などの問題点がある。

和牛、わさび、醤油などは需要が高いが、高価格やハラール認証の問題などを指摘する声もある。

1	Allion Trade International,	
需要動向	キッコーマン醤油(1.6L)は、非常に販売好調で需要が高い。ソースやスパイス類の需要は今後も増加と予測。	

2	Taher Trading	
需要動向	バングラデシュでは、日本製品への消費者の認知度が低い。	

3	Julie Trade International	
需要動向	高価格・認知不足により市場の拡大困難。市場認知が低く、需要も限定的。ラーメンなど一部商品に可能性あり。	

4	QandQ Trading Limited	
需要動向	若い世代は日本食を好む傾向にある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 寿司、刺身、麺類(若年層に人気) ・ 天ぷら粉(タイ経由で輸入中) ・ 健康飲料(ジュース、ドリンクなど) ・ キューピーのような日本の特製ソース 	

5	Universal Trading House
需要動向	ホテル・レストラン業界での利用が増えれば、需要は拡大する見込み。
6	Moon Star Trade Alliance
需要動向	<ul style="list-style-type: none"> ・抹茶、寿司、ラーメン、天ぷらなど、特に韓国料理、日本料理、中華料理といった外国料理が人気。 ・海苔、わさび、醤油、チョコレートなど、特に若い世代で人気。 ・和牛、わさび、醤油などは需要が高いが、高価格やハラール認証などが問題。
7	Noor Trade House
需要動向	キッコーマン醤油などバングラデシュで現地生産を始めれば大きな市場を独占できる。
8	Ms Kaniz Enterprise
需要動向	<p>キットカットチョコレートと麺類は種類が豊富なので売れ筋。 以前はキットカットの全種類を店頭に置いたが、今では税金と輸入規制のため、ほとんど輸入できなくなった。市場は巨大だが、税金は途方もなく高く、チョコレート 1kg あたり 1,920～2,040 円。 (1タカ=1.20 円 / 2025 年 8 月)</p>
9	Ever Grow Limited
需要動向	<p>日本製品は品質の高さで知られており、人気が高まると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・液体卵(飲食店向けに各国産の需要増) ・各種ソース類(醤油、チリソース、魚醤など) ・パスタ・スパゲッティなどの加工食品
10	Al Amin Trading
需要動向	<p>寿司や一部の菓子は、需要が高まる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールドコーヒー：高価格・少量輸入時のコスト高。 ・ポカリスエット：日本からの調達不可、現在はシンガポール経由で入手。 ・寿司・菓子類：英語ラベルがないため販売不可。

(4) アドバイス、要望

バングラデシュには、輸入に関する厳しい規制(ハラール認証など)が存在し、事前に詳細な理解と準備が必要。また税制、通関の仕組みへの対応も求められる。日本製品は「品質は良いが認知度が低く高価格」であるため、消費者教育や販促活動が成功のカギを握る。価格の安いタイ産や韓国産の食品に対する価格対応が必要などの意見が多くみられる。

1	Allion Trade International,
アドバイス	<p>乾燥果物、ジュースなどの食品類は輸入が容易。 売れ筋商品に集中し、不要な商品は避けること。 バングラデシュは輸入プロセスが複雑。法的手続きの理解と準備をしっかりと行うことが重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流の課題: チッタゴン港からダッカへの輸送に時間がかかる。 ・Nestlé ブランドの食品は輸入が困難。

2	Taher Trading
アドバイス	輸入業者に新商品の無料サンプルを提供したり、様々なセンターで無料セミナーを開催したりするなど、様々なプロモーション活動が必要 食品の税控除が高いため、インボイス調整(アンダーインボイス)により通関が円滑になる。
要望	バングラデシュではドル不足によりLC(信用状)発行が困難。簡易な配送・決済方法の提供が望ましい。

3	Julie Trade International
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> レストランオーナーやシェフへの直接アプローチ。サンプル提供や試験販売による認知拡大。ノルウェーから輸入したチキン製品は当初は販売困難だったが、現在はコンテナ単位で流通。市場開拓にはリスクがあり時間が必要。 日本製品は高品質だが高価格。韓国製品のような柔軟な価格戦略が必要。
要望	キッコーマンや味の素のように、絶大なブランドの力で、品質と認知が揃えば市場は動く。日本製品の可能性はあるが、価格と文化の壁(箸の使用など)を越えるには、政府支援や長期的な市場教育が不可欠だ。

4	QandQ Trading Limited
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> タイ企業は柔軟な対応と供給力で市場に浸透しており、今後も有利。 日本企業は品質面で優れているが、価格・ラベル・認証・賞味期限などの障壁が存在。
要望	<ul style="list-style-type: none"> キッコーマンの醤油を輸入したかったが、価格、ハラール認証、政策などの理由で実現せず。 キューピーマヨネーズ、ゴマドレッシングなど、賞味期限が短いことで輸入中止した。価格も高額。 冷凍食品は、現状コールドチェーンのインフラ不足で拡大できていない。

5	Universal Trading House
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 輸出業者はバングラデシュの規制(ハラール・BSTI・放射線検査)を理解し、対応すべき 偽造品対策と価格調整が市場拡大の鍵。

6	Moon Star Trade Alliance
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 市場参入には、商品サンプルの提供やフードフェスティバルなど様々な活性化キャンペーンも必要。 最近はデジタルプラットフォームを通じた販売が好調なので、効果的なアプローチになる。 また、ホテルやレストランなど、既に商品が販売されている場所と提携するのも良い戦略だ。
要望	<ul style="list-style-type: none"> ハラール認証などの遵守が必要。 高価格帯では売れにくく、中価格帯が望ましい。 英語ラベルが必須(外国語のみでは販売困難)。

7	Noor Trade House
アドバイス	関税構造を理解し、輸入プロセスの効率化を進めることが重要

8	Ms Kaniz Enterprise
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> タイからバングラデシュへの輸出には大きな困難はない。 バングラデシュの税制と輸入政策を理解すること。 BSTI・BCCIRによる製品検査の準備が必要

9	Ever Grow Limited
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> •日本製品はバングラデシュではまだニッチな存在。ほとんどの人は日本製品に馴染みがない。啓発キャンペーン、フードフェスティバル、シェフによる研修会などが必要。 •バングラデシュの輸入政策と食品輸入規制の研究が必要。許可が必要な製品を把握すること。
要望	<p>タイ製品と同様に、日本の輸出企業も競争力のある価格設定が必要。</p> <p>日本製品に対する関税はかなり高いのでバングラデシュ商務省と関税について話し合う必要がある。港でのコンテナ検査時間の短縮や輸送時間も分析すべき。</p>

10	Al Amin Trading
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> •小ロット(50～100 カートン)での試験輸入を支援すべき。 •輸出業者が納期管理をサポートすれば輸入が円滑に進む。 •バングラデシュの輸入業者との連携強化が必要。
要望	<ul style="list-style-type: none"> •日本製品は高品質だが、価格・ラベル・輸入コストの面で課題あり。 •チョコレートは輸入できるものの、政府が税金を大幅に引き上げている。

注釈：本文中に記載された企業名・ブランド名は、各業者の取扱実績に基づく例示であり、調査者が特定の製品を推奨、またはその品質を保証するものではありません。

備考

※1 : Thailand's Trade Statistic Report System- EXPORT OF THAILAND CLASSIFIED BY COUNTRY にアクセス、
<https://tradereport.moc.go.th/en/stat/reporthscodeexport02>

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本資料に関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所

電話番号：66-2-253-6441

E-mail アドレス：ThaiPF_Japanfood@jetro.go.jp